第Ⅴ期中期経営計画　評価指標

1　医療の質の向上

1-1 急性期・高度医療の充実

		R2	R3	R4	R5	R6	R7	評価
(1)　手術患者数（全身麻酔）及び医療圏内におけるシェア率	目標値	－ 23.0%以上	1,461人以上 24.0%以上	1,477人以上 24.2%以上	1,495人以上 24.4%以上	1,514人以上 24.6%以上	1,533人以上 24.9%以上	○R3実績について、患者数が新型コロナ感染症流行前の水準までは戻らず、手術患者数は目標値を下回った。 なお、R3年の全身麻酔による手術の医療圏内シェア率は現時点で未公表
	実績値	1,171人 20.1%	1,299人 －					
(2)　がんによる入院患者数及び医療圏内におけるシェア率	目標値	－ 20%以上	954人以上 16%以上	990人以上 16.5%以上	1,028人以上 17.1%以上	1,066人以上 17.8%以上	1,104人以上 18.4%以上	○医療圏におけるシェア率は目標を達成したものの、医療圏におけるがん入院患者数が減少したことによるものであり、新規入院がん患者数は目標を下回った。 引き続き手術や放射線治療、化学療法等に注力し、患者数の増加に努める。
	実績値	890 14.8%	796 16.6%					
(3)　入院患者一人当たり診療収入	目標値	－	52,500円以上	52,500円以上	52,500円以上	52,500円以上	52,500円以上	○3階中病棟を集中治療室病棟に統合し、ハイケアユニット化したことなどにより、一人当たり診療収入は目標を達成した。
	実績値	52,964円	55,792円					
(4)　外来患者一人当たり診療収入	目標値	－	11,400円以上	11,400円以上	11,400円以上	11,400円以上	11,400円以上	○前年度を下回ったものの、目標を達成した。今後も手術や放射線治療、化学療法等に注力し、単価の維持に努める
	実績値	11,752円	11,453円					

1-2 安全・安心・納得の医療提供

		R2	R3	R4	R5	R6	R7	評価
(1)　クリニカルパス適用率	目標値	－	50%以上	50%以上	50%以上	50%以上	50%以上	○R3は目標値未達成となった。 新規パスの作成や古いパスの見直しや修正、医師へのパス使用の働きかけやクリニカルパスに精通した人材の育成等を行っていく。
	実績値	42.1%	45.9%					
(2)　褥瘡発生率	目標値	1.40%以下	1.10%以下	1.10%以下	1.10%以下	1.10%以下	1.10%以下	○R3は目標未達成となった。 褥瘡の発生を抑えるために、備品整備を進めるほか、職員の育成を行っていく。
	実績値	1.13%	1.75%					
(3)　転倒・転落発生率及び負傷率	目標値	2.52‰以下 0.05‰以下	2.48‰以下 0.04‰以下	2.48‰以下 0.04‰以下	2.48‰以下 0.04‰以下	2.48‰以下 0.04‰以下	2.48‰以下 0.04‰以下	○活動性を保つため、できるだけ拘束をせず、重度の負傷を起こさせない取り組みを行っている。転倒・転落件数、発生率は増加し、目標未達成となったたものの、負傷件数、負傷率は減少し、目標を達成した。 今後も患者の筋力低下予防やせん妄ラウンド等を通して、転倒転落の発生を抑えていく。
	実績値	2.53‰ 0.13‰	2.92‰ 0.04‰					
(4)　認知症ケア加算算定件数に占める身体抑制有の割合	目標値	－	45%以下	45%以下	45%以下	45%以下	45%以下	○新型コロナ感染症の流行により、面会禁止としていた期間が長く、せん妄が起こりやすい状況となっていたこともあり、目標達成に至らなかった。
	実績値	47.2%	57.7%					

1-3 地域に根差した医療の提供

		R2	R3	R4	R5	R6	R7	評価
(1)　紹介率 （地域支援病院の計算式により）	目標値	50%以上	70%以上	70%以上	70%以上	70%以上	70%以上	○R3の紹介率及び逆紹介率は、目標を下回ったものの地域医療支援病院としての要件は上回った。 今後も逆紹介の増加に努め、紹介患者数の増加、新規入院患者の獲得、収益の確保につなげていく。
	実績値	70.6%	68.0%					
(2)　逆紹介率 （地域支援病院の計算式により）	目標値	70%以上	100%以上	100%以上	100%以上	100%以上	100%以上	
	実績値	90.4%	96.2%					
(3)　地域連携クリニカルパスの適用率 （大腿骨頚部骨折）	目標値	－	39.5%以上	39.5%以上	39.5%以上	39.5%以上	39.5%以上	○R3の地域連携クリニカルパスの適用率については、目標を下回った。 症状の度合いや認知症等で同意が取れない、などによりパスに載らない場合もあるが、原則、患者に対してパスの適用を提案していく。
	実績値	25.0%	37.7%					
(4)　地域連携クリニカルパスの適用率 （脳卒中（脳梗塞・脳出血・くも膜下出血））	目標値	－	29%以上	29%以上	29%以上	29%以上	29%以上	
	実績値	29.7%	26.4%					

2 経営の安定

		R2	R3	R4	R5	R6	R7	評価
(1) 医業収支比率(医業収益/医業費用)	目標値	98.4%	95.6%	96.0%	97.1%	97.2%	97.2%	【医業収支比率】【経常収支比率】 ○収益面では、患者一人一日あたり診療単価が増加し、患者数も前年度に比べて増加したことから、医業収益は、前年度比で増となった。しかし、新型コロナ感染症流行前の水準までは回復していない。 経常収益については、新型コロナ対応に係る補助金等を計上したことにより、増加した。 ○費用面では、患者数が前年度に比べ増加したことにより材料費が増加したことや重油、ガス料金の高騰、新型コロナの対応に係る経費、特別償却の実施などにより、費用は増大した。 結果、経常利益を計上し、H29年度から続く黒字決算となり、経常収支比率は上昇し、目標を達成した。その一方で、医業収支比率は前年度に比べ改善したものの目標を下回った。 医業収益の回復を目指し、紹介・逆紹介の推進による実入院患者の確保や医療の質向上、診療単価の増加に繋がる医療提供体制の構築に取り組むとともに、医業費用の削減にも継続的に取り組んでまいる。
	実績値	86.1%	92.7%					
(2) 経常収支比率(経常収益/経常費用)	目標値	100.8%	100.1%	100.4%	100.9%	101.2%	101.6%	
	実績値	107.0%	114.0%					
(3) 材料費比率(材料費/医業収益)	目標値	23.2%	22.4%	22.4%	22.0%	22.0%	22.0%	○患者数が前年度比で増となり、医業収益及び材料費ともに増加したが、材料費率としては、目標を達成した。 引き続き、ベンチマークの活用や価格交渉による薬品費の抑制など、材料費の節減に努める。
	実績値	22.5%	21.3%					
(4) 月平均実入院患者数	目標値	703人以上	640人以上	647人以上	655人以上	663人以上	672人以上	○前年度より増加したものの、新型コロナ以前の水準には回復せず、目標達成には至らなかった。 引き続き、診療科別の患者数指標値設定、毎月の結果のフィードバックのほか、逆紹介に取り組むなど、新規入院患者の回復に取り組む。
	実績値	541人	578人					

3 チーム医療の推進・ワークライフバランスの推進

		R2	R3	R4	R5	R6	R7	評価
(1) 職員1人当たり有給休暇取得日数	目標値	−	10日以上	10日以上	10日以上	10日以上	10日以上	○R3は、職員1人あたり有給休暇取得日数は目標を達成したが、取得日数10日以上職員の割合は、前年度比で増加したものの達成には至らなかった。 今後も有給休暇の取得をしやすい職場環境づくりに努める。
	実績値	12.3日	12.5日					
(2) 有給休暇取得日数10日以上職員割合	目標値	−	75%以上	75%以上	75%以上	75%以上	75%以上	
	実績値	65.8%	67.2%					